

令和4年度 学校教育自己診断の結果について

1. 生徒）：肯定率が全体的に高い。

○高い項目

・高校生活全般 90.6%、保健指導 92%、人権学習 93%、1人1台端末の利用 93%など

○比較的低い項目

・生徒会活動 81%、その他（地域交流）77% など。

農業クラブ活動が放課後に行われていることもあり、生徒会活動が学年進行とともに加入率が下降していく傾向にある。1年生は地域交流が少ないが、学年進行で上昇している。

2. 保護者）：肯定率が全体的に高い。

○高い項目

・全般 90%、保健指導 92%、人権学習 91%、情報提供 87% など

○低い項目

・生徒会活動 76% 施設設備 82%

全体的に今後も高い数値が維持できるよう取り組んでいく。

3. 教員）：生徒・保護者と比較して肯定率が低い。

○高い項目

・進路指導 93%、保健活動 93%、学習指導 90%、など

○低い項目

・研修 62%、施設設備 70%、指導体制等 68% など

生徒への指導に関する項目は比較的高いものが多いが、学校での体制に関する項目は低い傾向にある。日常の情報交換などが円滑になされるよう、働き方改革の観点からも改善が必要である。